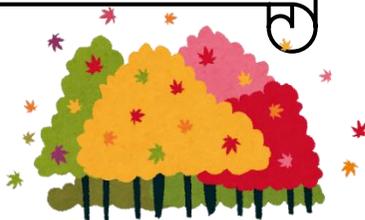


令和6年10月29日(火)、第3回の相談支援専門員連絡会が第2回こどもサービス連絡会と合同で伊那市福祉まちづくりセンターにて開催されました。相談支援事業所や放課後等デイサービス事業所を中心に合計64名の参加がありました。



### (1) 講義『感覚の統合ってなに?』

「感覚の統合ってなに」という内容で、上伊那生協病院の作業療法士小平さんの講義がありました。

感覚とは、「視覚」「触覚」「味覚」「嗅覚」「聴覚」「前庭感覚」「固有受容感覚」の7つを指し、これらの感覚を脳内で分類、整理、まとめたりすることを感覚統合という。感覚の統合が脳内で上手くいくと「適応行動」をつくりだすが、上手くいかないと「問題行動」と捉えられてしまう。自閉症スペクトラム症の70~90%に感覚の問題があると言われており、ひとりの中に感覚過敏と感覚の感じにくさが同居し、感覚特性やそれによる生活上の問題の現れ方は、多種多様である。

感覚統合理論を保育や家庭生活に活かすためのポイントは、

- ① 日々の活動や遊びを通じて、こどもの特性に合わせた感覚刺激を提供すること。

- ② 指導的な遊びではなく、共感し関係性を深め合い、相互関係の中から新たな遊びや学びに繋げていくこと。
- ③ こども自らチャレンジすることで脳の機能が更新されるため、小さい段階付けてチャレンジを手助けすること。

以上の点を踏まえつつ、こどもの行動を「理解することから」始める。理解できないことは、支援に繋がられない。理解できることは、支援に繋がられる。「理解する」ことは支援の第一歩!である。

### (2) グループワーク

【検討内容】・基本的な連携の流れについて

・個別支援計画提出のタイミングについて

7つのグループに分かれ、闊達な意見交換が行われました。課題以外にもいろいろな意見を頂きましたので、いくつか紹介します。

- ・支援会議の後、それを参考に事業所内で会議をしてから内容を決め、その後に個別支援計画を渡す。後手後手になってしまうこともある。
- ・渡せるタイミングで順々に渡している。
- ・支援会議の前に事前に話しをしておいて、サービス更新時に渡している。
- ・会議の時間が夕方が多く、放課後等デイサービス事業所も忙しい時間なので参集が難しい。会議が夕方以外に出来れば児の計画相談も受けられるかも。

・相談支援専門員と事業所での連携が大切。顔の見える関係構築が出来れば会議が開けないというはずれは無くなる。

・事務処理量が増え、現場に負担がかかっていると感じる。

・個別支援計画について、5領域を重心のこどもに当てはめるのが難しい。かなりの専門性が問われる。必要なのはわかるが、人がいない。やりきれないところもある。



### (3) お知らせ

☆相談支援専門員さん集まれ!

来てみませんか?「おしゃべりカフェ」

「ひとりで仕事していると不安。みんなどうしてる?」「このケース、どうしたらいいの?」「ちょっと誰かに聞いてもらいたい」そんな気持ちを、気軽にお話しませんか?相談事が無くても大丈夫です。好きな時間にお立ち寄りください。予約不要。

第1回 令和7年1月21日(火)14時~18時30分

場所:長野県西駒郷

第2回 令和7年1月30日(木)14時~18時30分

場所:上伊那圏域障がい者総合支援センターきらりあ



### (4) その他

第4回相談支援専門員連絡会

日時:令和6年12月5日(木) 13:30~15:00

場所:伊那市福祉まちづくりセンター3階

内容:就業支援部会と合同で開催

・就労系障がい福祉サービスについての勉強会

(講師:長野県伊那保健福祉事務所 瀬川氏)

・グループワーク他

### 編集後記

毎回多くの方の参加があり、ご協力に大変感謝しています。充実した連絡会が行えるように、皆さんの声や意見を参考に考えたいと思います。一段と冷え込みを感じる今日この頃、お身体ご自愛いただき、また相談支援専門員連絡会で元気にお会いできるのを楽しみにしております。



事務局 上伊那圏域障がい者総合支援センター

担当者 伊藤、村上、内村

TEL (0265) 74-5627 FAX (0265) 74-8661

e-mail:ksc@ar.wakwak.com